

査読用原稿執筆要領

1. 論文はすべて英文とし、十分推敲のうえワープロ等で作成する。電子ジャーナル版原稿の PDF ファイルは、刊本製作の出版社が作成し、ウェブ上に登載する。電子ジャーナル版への登載を希望しない筆者は、その旨を申し出てください。
2. 原稿は A4 判とし、PDF 等の印刷可能な電子媒体で提出することとする。論文の本文は 1 行約 65 字、ダブルスペースで、上下に十分余白を残す。最終原稿が 20 ページ以内となるよう、最終版における図表の大きさを単語数換算したもの（全幅 5 行分ならば 80 単語程度）を含めて約 15000 単語以内とすることとする。
3. 原稿第 1 ページには表題、筆者名（フルネーム）、所属、英文アブストラクト（150 語以内）を記入する（本文は第 2 ページから始める）。
4. 引用文献は下記の例にならない論文の末尾にまとめて記載する。本文中では肩に 1)、2)、3)、……のような番号を用いて示す。
脚注は、本文の下に横線を引き、その下に記載する。脚注番号はページごとに*、**、***等を使用する。

(例) REFERENCES

- 1) Passman, S. L., Grady, D. E., and Rundle, J. B., "The role of inertia in the fracture of rock", *J. Appl. Phys.* 51 (1980), pp.4070-4075.
(論文の表題を必ず記載すること)
 - 2) H. Schlichting : *Boundary-Layer Theory*, 7th ed. (McGraw-Hill Book Co., 1979), p.74.
5. 図表や写真原稿は、鮮明なものを用いること。図 (Fig.) および表 (Table) は本文中の挿入箇所の原稿右側余白に、図、表番号を Fig.1、2、または Table 1、2、と明記する。図の説明は全部まとめて別紙に記載して添付する。表の説明は表の上部に印字する。Tex 使用の場合はこの限りではない。
※英文論文集の印刷は白黒なので、カラー画像の使用を避けるのが望ましい。印刷時にグレースケールに置き換わっても問題が無い場合はこの限りではない。
 6. 原稿には次の項目を記入した表紙を 3 通とも付ける（「査読用表紙」：第 62 回理論応用力学講演会 HP <http://www.jsce.or.jp/committee/amc/nctam/nctam62/>よりダウンロードして使用）。
 - (1) 講演番号
 - (2) 論文題名
 - (3) ヘディング（できるだけ短縮した論文題名、約 10 語以内：奇数頁の欄外に印刷される）
 - (4) 筆者名（ローマ字および漢字）
 - (5) 勤務先（ローマ字および漢字）
 - (6) 連絡先（共著の場合は 1 名を選ぶこと）
 - (a) 氏名（漢字）
 - (b) 宛先（含郵便番号）
 - (c) 電話番号
 - (d) FAX 番号
 - (e) E-mail アドレス
 - (7) 主な所属学会名
 - (8) 原稿の本文、図、表の枚数